

地域企業・産業資料デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する地域企業・産業資料のうち、印刷物および近代の文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものととして了解下さい。写りの悪い資料については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (5) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (6) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 27 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 15HP8021 の交付を受けて作成しています。

101

60 No.

製鐵所

本計書ハ製鐵所事業永遠ノ方策トシテ經濟的且地ヨリ現業製鐵設備ニ
 付テ作業ノ實況ヨリ精フルトキハ幾多ノ改良補設ヲ要スルモノアルヲ以
 テ先ツ鐵鑛工場ヲ大形ノモノニ改造シ之ヲ海岸ニ移設シ鑛石ヲ直接
 高炉ニ投入シ原料ノ運搬ヲ省略シ能率増進ト相待テ生産費ノ安價ヲ計
 ルハ現今ノ鐵鑛ノ趨勢ヨリ觀テ最モ切要ナリトス然ルニ現業製鐵工場ハ創立
 當初編九萬噸製造計書ノ下ニ建設セラレタルモノニシテ逐次擴張シテ今
 日ニ及ビタルモノナルガ其位置ハ荷馬岸ヨリ直徑約八五〇米ノ距離ニ
 地盤ハ海面上十五米ノ高地ニアリテ諸原料等ノ貨車運送ヲナスニ約三千
 三百米ノ距離ヲ迂回スル状態ニテ之ガ爲多額ノ運搬費ヲ消費シツ、アリ
 テ今後更ニ高炉改造ニ伴フ原料増加シ運搬セントスレバ置場ノ關係上途
 地ナク河川ニ重運搬ノ失ヲ免レズ一層不經濟ヲ伴フベキヲ以テ河海灣
 内埋立地(河川)材向管線一帯ノ地ヲ利用シ此處ニ造鐵工場ヲ漸次移設
 造シ作業系統ヲ一單純化シ經濟的能率増進ニ依リ生産増加ヲ計リ現在
 我國ニ於ケル鐵鑛ノ供給力ノ補充ニ一セントスルモノニシテ之ガ過渡期
 ニ處スル爲先ツ現在二五〇噸ヲ二倍ノ出產能力ヲ有スル五〇〇噸ヲ
 設置シ河川(埋立地)海岸ニ各擴充一帯及其附帯設備ヲ建設セントス然シ

甲

No.

製 鐵 所

テ之ニ要スル設備大要左ノ如シ
 本計畫ニ屬スル設備ハ瓦斯送風機、高圧起重機、其他重要ナル機械ノ一
 部ヲ除ク外、大部分内電機ニ依ル。送達ナリ、原材料中鋼材及セメント、煉瓦ハ
 全部自製ス。使用スルモノトス

- 一、送風機製造部 一、二式 四、一三九、四〇〇圓
- 一、起重機 一、二式 一、三三三、〇〇〇圓

五〇〇馬力トス。一日ノ出產豫定五〇〇〇噸ニシテ、一ケ年十八萬噸ナリ
 三、四（昇降機）東海岸ニ建設ス。動力機、裝置一式、三、〇〇〇馬力。四、
 換風管一式、瓦斯管一式、貯塵器一式、溜床一ケ所、給排水設備及附屬雜
 費等 一、〇〇〇圓

- 六、送風機 二、二式 一、三〇〇、〇〇〇圓

瓦斯運送ノ送風機、二式ヲ設置ス。一、八馬力トス。各機共三、五〇〇馬力
 ニシテ、一分間ノ送風量一、三〇〇立米、乃、一、四〇〇立米、力〇、九乃至
 一、四立米トス。上家、組立起重機一式、送風管一式、及型式瓦斯清淨装置並電
 氣新清淨装置ノ各種ヲナシ、一萬立米ノ瓦斯「ホルダー」二ケヲ附屬
 セシム

- 七、原料處理設備一式 一、五〇八、四〇〇圓

甲

No.

製 鐵 所

洗炭機ハ「ヴァーム」ヲ用ヒ各洗炭機ハ「エレベーター」若クハ「ベル
トコンベヤー」ニ依リ、運送ヲナス
原料洗炭工場一、附屬脫水機、配合洗炭工場一、附屬脫水機、原料及配
合洗炭貯蔵装置、洗炭粉砕工場、浮游洗炭機等附屬設備一式及前田貨物
驛ヲ經テ炭ニ依リ、運送セラル、原料専用貯炭場トシテ貯炭約一三
〇〇〇噸ノ貯炭場ヲ附屬セシム

一、九二五、六七〇圓

一、九二五、六七〇圓

新設炭機ハ一日平均約六〇〇噸ナリ之ニ對シ炭機約七十五基一團ヲ
新設スルモノナリ一日五〇〇噸乃至六〇〇噸ノ能力アリ、前田貨物
北側ニ設ケスルモノニシテ之ニ副産物工場ヲ附屬セシム

後炭ノ運搬ハ、道中ノ事ヲ避クル爲「ベルトコンベヤー」ニ依
リ直接運送、貯炭機ニ運送ス一時間運送力約一三〇噸ノモノヲ
ム

本工場ハ舊「コツペー」修設、新ヲ改造シ現在黒田式戸ニ多少改良ヲ加
ヘタル複式炭機、トナシ、炭機戸瓦斯及炭機戸瓦斯ヲ使用スルモノニ
シテ、瓦斯及餘熱ヲ有益ニ利用シ炭化時間ヲ短縮スル爲從來ノモノニ
比シ生産費廉價タルベシ

甲

No.

製 鐵 所

審議河越風河及副産物工場等ノ冷却用海水ニ給スル目的ヲ以テ海岸
 ヨリ鐵管ヲ布設シ海水引入設備「ポンプ」室及海水排水路ヲ新設スル
 モノトス而シテ其延長ハ約一〇〇〇米ノ見込ナリ
 淡水設備トシテ海水管約三〇〇〇米ヲ布設ス主トシテ戻水ヲ利用ス
 ル見込ニテ戻水装置ヲ設ス
 排水管約四〇〇〇米及排水路約三〇〇〇米ハ適宜之ヲ設ク
 敷地土工一式 一一五、〇〇〇圓
 副産物（埋藏地）西北方一帯ノ汚滓順堆積高地ハ副産物工場建設及貯炭
 場連絡線路布設ノ爲支障部分ノ切取及整理ヲ要スルモノトス
 鐵道及運送設備一式 五三〇、〇〇〇圓
 副産物工場建設及貯炭場附近ニ於テ約二、五〇〇〇米ノ鐵道ノ新設並
 ニ約七、五〇〇米ノ修設ヲ要ス
 汚滓が一〇〇ヨリ製出スル汚滓處理ノ爲一〇三〇噸ノ鑄鉄車四臺ヲ
 設備ス一臺ハ稼働トス
 汚滓ノ處理方法トシテハ水滓シテ煉瓦及セメントニ作ルカ又ハ碎テ
 「パラスト」ヲ作り或ハ微細放棄スルモノニシテ汚滓が一〇三ヨリ排出
 スル汚滓ハ二ヶ年約一〇三、〇〇〇噸ニシテ内利用スルモノ四三、〇〇〇

甲

